

本堂の縁側から境内を眺めると心が穏やかになる。

本堂の左隅に、参詣者を見守るよう立っている二つの像がありました。ご住職にお聞きすると、七歳と二歳の時の聖徳太子像ということ。

「文化財には指定されていませんが、七歳の時の木像は江戸時代の文書によると、聖徳太子ご自作と書いてあります。お像の形を見ると飛鳥仏に近いので、もしかしたらそうなのかもしれないと、感じさせられます。」

江戸時代の僧侶が、聖徳太子のご自作であったらしいな、という思いから文書に記したのかもしれないと、と話すご住職。お像の前に立ち、「聖徳太子が作ったのかもしれない」



二歳の聖徳太子立像

七歳の聖徳太子立像

と思いつながら見るのも感慨深いかも思えません。

海龍王寺の本堂から見る景色は、創建当初とほとんど変わっていないようで、その雰囲気求めて参詣に来る人も少なくないそうです。

「東金堂跡の横に大きな楠がありまして、風が吹いて木々が揺れると『ザーツ』という音が出て、何故か波の音に聞こえる時があるんです。本堂の縁側に座つてその音を聞いていると、時間がゆつくりと流れていく時間を感じていただけます。心を鎮めて来ましてとか、心を休めに来まして、とおっしゃる方々がおられます。」

確かに、本堂から境内を眺めていると、時間が止まったように感じ、心が穏やかになる気がしました。



東金堂跡

三月の特別公開には、奈良国立博物館出陳の文化財を公開

三月二十三日から四月七日と、五月一日から九日に海龍王寺では特別公開を行ないます。その時は、平素は幕がかかっている十一面観音像の幕を外すので、全身を拝むことが出来ます。また、光明皇后が父・藤原不比等と母・県大養橋三千代のために書写させたと伝わる自在王菩薩経や隅寺心経なども、出陳している奈良国立博物館から戻るので、拝観出来ます。

「海龍王寺に来たら、是非お声をかけて下さい。大野屋ニユースを見ました、とおっしゃって頂ければ共通の話題も出来ます。せつかくお越し頂いたのにお話も出来ないのは残念な気がしますので。」

と、穏やかな笑顔で話すご住職。お越しになる日時を前もってお知らせ頂いたら幸いです、とも話していました。

奈良時代より、ほぼ変わらぬ姿を留めている海龍王寺。喪失した東金堂跡が移り行く時代の優さ、佇びしさを、いつそう深めているように感じました。



寺門勅額（国・重文）

季節の供養膳

滋養に富む旬の自然薯を、故人と一緒に楽しみましょう

自然薯は、古くから体を健やかに保つ食材として知られ、広く親しまれてきました。もちろん生でも食べられますが、温かなお吸い物仕立てもいいものです。寒い冬から、ゆつくりと春へと移ろう季節の狭間、滋養に富んだ旬の自然薯料理をお供えし、ご先祖様と共に楽しみましょう。

「自然薯のお吸い物」

自然薯は自然生とも呼ばれ、平安時代末期に成立したといわれる説話集『今昔物語集』巻26第17話にも記述があることから判るように、古くから山間部に自生し、日本人に親しまれてきた食材です。

生で食べられる同系のヤマノイモ科として、長芋や大和芋（銀杏芋）などもありますが、自然薯は風味豊かで味も濃く、なめらかな食感と、強い粘りが特徴です。

また『山鰻』の別称もあるほど栄養価も高く、滋養強壮、虚弱体質改善、食欲増進など優れた効果があるとされます。

ちなみに、江戸時代の戯作者・十返舎一九が著した滑稽本『東海道中膝栗



料理スタイリング：Mietchi Cuisine / Photo：ODDAdesign



自然薯の食べ方としてもっともポピュラーなのが『麦とろ』です。自然薯は消化酵素・アミラーゼを多く含み、米などのでんぷんを含む食材の消化を助けてくれる働きもあります。

「自然薯のお吸い物」

Recipe

【材 料】2人分
自然薯 200g、だし汁 400ml
酒大さじ1、薄口醤油小さじ1、塩ふたつまみ
三つ葉、柚子各適量

【作り方】調理時間：30分
1. 自然薯は皮を剥かず、ひげ根を火で炙って取り除きタワシなどで汚れを落として水洗いする。
2. 自然薯をおろし金ですりおろす。すり鉢に入れてすりこぎで粘りが出るまでよくする。
3. 鍋にだし汁を入れて、火にかけて温める。酒、薄口醤油、塩で味を調える。ひと煮立ちさせて、火を少し弱める。すりおろした自然薯をスプーンですくい入れる。軽く火を通す程度にサッと煮る。
4. 3を椀に盛りつけ、三つ葉と柚子を添える。

海の安穏を祈る
四海安穏祈願法要



海の安全を願う、平成十六年から復興した法要です。もともとは海龍王寺に縁のある海の海水を寺に送ってもらい、皆さんと一緒に拜んで頂いていましたが、東日本大震災以降は、宮城県石巻市や福島県相馬市の被災地の海水も壇に安置しています。

今年は四月十八日の午後三時から、四つの海の安穏を願う、祈願法要が行われます。

海龍王寺
住所 奈良県奈良市法華寺北町 897
電話 0742-33-5765
交通 東海道新幹線・京都駅下車
京都駅から近鉄特急で近鉄奈良駅下車
近鉄奈良駅より大和西大寺行きバスで約15分法華寺前下車すぐ

